※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和５年度　創知

教科	(学)創知	科目	(学)創知Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	情報Ⅰ（東京書籍）						
副教材等	ニューステップアップ情報Ⅰ（東京書籍）　創知テキスト（自主教材）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

創知という教科は天王寺高校独自のカリキュラムであり，通常の授業のように入試科目になったり定期考査を毎回行ったり，専用の問題集があるわけではない。教科の名前からもわかるように「創り出す」教科である。１年次ではデータ分析の手法や，それをもとにした表現・情報デザインについて学んだ。創知Ⅱではこれらの基本的なスキルを活用し，科目横断的に自身の今後のキャリアを見据えて探究的な学びを深めていく。試行錯誤をくり返し，主体的に粘り強く学ぶ態度を養いたい。

２　学習の到達目標

・様々なメディアを通して得られる情報を，多角的に検討し自身の考えを表現することができる。
・他者の多様な考えに触れることで，前述の自身の考えを批判的に省察し改善することができる。
・情報や情報技術を活用して課題を明らかにし，様々なアプローチを多角的に検討し最善と思われる方法を構築することができる。この過程を通して，問題解決のための知識・技能を習得する。
・得られたデータをもとに思考し，適切に情報として示すことができる。このとき，情報モラルや研究倫理に配慮し，論文やプレゼンテーションにより他者に表現することができる。
・身の回りの問題を解決する過程を通じて，情報社会に主体的に参画する態度だけでなく，将来の科学技術の発展に主体的に参画する態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら、探究活動や情報と情報技術について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身につけている。 探究活動や情報と情報技術に関わる実習を行うことで技能を習得し、それらの過程や結果を的確に記録、整理することができる。	探究活動や情報と情報技術から問題を見出し、探究する過程を通じて、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	探究活動や情報と情報技術に主体的に関わり、見通しを立てたり、振り返るなど、意欲的かつ科学的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	ディベート	・ディベートの方法 ・ディベート実践 ・クラス予選 ・クラスマッチ	a:情報を多角的に収集する方法を習得するとともに、論理的な思考や表現方法に関して基本的な概念や原理を理解し、知識を身につけている。 b:多角的に収集した情報をもとに問題を見出し、探究する過程を通じて、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。 c: 情報を多角的に収集し，論理的に思考・表現することに関心を持ち、意欲的かつ科学的に探究しようとする。	ディベートノート	ディベートノート	パフォーマンス評価
	研究準備	・研究班の決定 ・研究テーマの決定 ・研究計画 ・研究倫理Ⅱ	a:情報モラルや研究倫理に関する知識や既知の事実から未知を明らかにする方法を習得するとともに、基本的な概念や原理を理解し、知識を身につけている。 b:既知の事実から未知とされている問題を見出し、探究する過程を通じて、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。 c: 情報モラルや研究倫理に関する知識や既知の事実から未知を明らかにする方法に関心を持ち、意欲的かつ科学的に探究しようとする。	定期考査	定期考査	研究ノート、中間発表

※令和４年度以降入学生用

後期	課題研究	・研究活動 ・中間発表 ・論文作成 ・ポスター作成 ・発表会	a:試行錯誤を繰り返しながら科学的に探究を進める方法を習得するとともに，探究内容に関しての基本的な概念や原理を理解し、知識を身につけている。 b:教科横断的に自然・社会など多岐にわたる事象から問題を見出し、探究する過程を通じて、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。 c:科学的に探究を深めることに関心を持ち、意欲的かつ科学的に探究しようとする。	定期考査	定期考査・論文	研究ノート、レポート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度